

日本橋プログラム												
専攻	研究部門	研究指導		出願コード		主担当教員				副担当教員		
				修士 課程	博士 後期 課程							
表現工学専攻	インターメディア工学部門	音コミュニケーション科学研究	理論計算の基礎を踏まえた上で、その応用として快適な音環境、快適なコミュニケーションの実現を目指し研究を行う。具体的には、音場の記述と伝送、聴覚の物理分析、コミュニケーションエイドの開発、音場測定、音場の数値計算などの研究を行う。	X01	X51	教授	博士(工学) (早稲田大学)	及川 晴広	toikawa@waseda.jp			
表現工学専攻	インターメディア芸術部門	音楽情報科学研究	先端技術も応用した芸術表現に関して、芸術、技術の両面から、音楽、録音、音の空間表現、環境や心理への働きかけに関する研究を行い、芸術と人間の関係をさぐり、実際の創作に繋げる。	X04	-	教授	芸術学博士 (東京芸術大学)	菅野 由弘	yukano@waseda.jp			
表現工学専攻	インターメディア工学部門	先端メディアと人間工学研究	人間工学(エルゴノミクス)の手法を用いて、次世代のメディアコンテンツの制作、評価を行う。立体映像やバーチャルリアリティ、ユビキタスコンピュータなどを主要な対象とし、多様な分野での実用化を目指した取り組みを行う。	X05	X55	教授	博士(人間科学) (早稲田大学)	河合 隆史	ikawai@waseda.jp			
表現工学専攻	インターメディア工学部門	動的知能表現システム研究	コミュニケーション形態(表現)の創発の理論の確立と、その応用として人間と長期のコミュニケーションを可能とする人工システムの実現を目指した研究を行う。	X15	X65	教授	博士(工学) (早稲田大学)	塚形 賢也	tsukagata@waseda.jp			
表現工学専攻	インターメディア芸術部門	デジタル映像表現研究	デジタルコンテンツ制作、アニメーション制作、科学シミュレーションなどの分野におけるデジタル映像表現技術の応用と展開に関する研究を行う。	X16	-	教授		坂井 温和	hatsukai@waseda.jp			
表現工学専攻	インターメディア芸術部門	生命表現研究	生命システムが環境に対して行う、能動的・受動的表現の理解と、その数理的表現および科学的展開を目的とする。	X17	X67	教授	理学博士(東北大学)	都岡 卓夫	yuki@waseda.jp			
表現工学専攻	インターメディア工学部門	認知科学研究	人間の認知行動メカニズムの科学的研究と、それらの境界領域への拡張や真社会への還元を志向した研究を行う。	X18	X68	教授	Doctor of Philosophy (カリフォルニア工科大学)	深津 亮巳	katsu@waseda.jp			
表現工学専攻	インターメディア芸術部門	ヒューマンメディア芸術部門 ロジック研究	情報世界と真世界とが融合する新たな社会において、ヒトがモノ・コト・ヒトとよりよくインタラクションするために必要なメディア・コンテンツ技術を多面的に考え、研究する。	X19	X69	教授	博士(学際情報学) (東京大学)	橋田 清子	hashida@waseda.jp			